

# 沙美地区社協だより

発行 沙美地区社協 広報部

## コラム

### 沙美地区の伝説シリーズ ①

昔、昔、あるところに……と、親や祖父母に昔話を語ってもらったのはいつのことでしょうか。民話には昔話も伝説もあります。日本全国、津々浦々、辿れば地域にまつわる伝説がいくつも聞かれます。沙美地区の伝説をご紹介します。

#### 「弁慶岩」のいわれ

沙美の海岸の背後に弁慶山という山があり、この山にはその昔、弁慶という巨人が住んでいたそうです。村人に直接危害を加える訳ではないけれど、昼寝をすれば、そのいびきで家並みが揺れ、くしゃみをすれば岸辺の釣り舟が転覆するほどでした。困り果てた村人は、弁慶にどこか適当な所へ移って欲しいと頼みました。弁慶は身の置き所がないのを嘆き、ため息をついては村中に旋風を巻き起こしていました。でもこれ以上、村人に迷惑はかけられないと思案の末、四国山脈に居を移すことを決意したそうです。ある日、この山にそびえる大きな石を足場とし、一気に四国へ飛び渡りました。その時ふんばった弁慶の足跡が、ちょうど海をまたぐような形で直径五十センチのものが二つ残されたので、その岩を「弁慶岩」と呼んでいると伝えられています。

たましま歴史百景より

現在は、下の方から弁慶岩を見上げるだけになりましたが、以前は保育園児や小学生が、先生たちと一緒に声をかけ合いながら楽しそうに登っていました。今もなお、その光景が懐かしく思い出されます。

## 「挨拶

沙美地区社会福祉協議会会長

原田貞男

本年度も皆様方の御理解と御協力により無事に事業を行うことができました。さて、沙美地区も高齢化率が上がって来ています。高齢になると筋肉が少なくなり転ぎやすくなります。筋肉は運動すると増えます。手軽な運動にグラウンドゴルフがあります。打った球を追って歩くので自然に歩きます。誰でもできます。西地区の有志が水曜日には西公園で、土曜日は沙美小学校の運動場で楽しく練習しています。お電話くださるか、遊びに来てください。休憩時間は話し合いをして親睦を深めています。皆様と一緒に協力して、健康で安心して安全に住めるような地区になることを願います。

## 福祉講演会

令和元年六月三十日（日）

玉島黒崎公民館

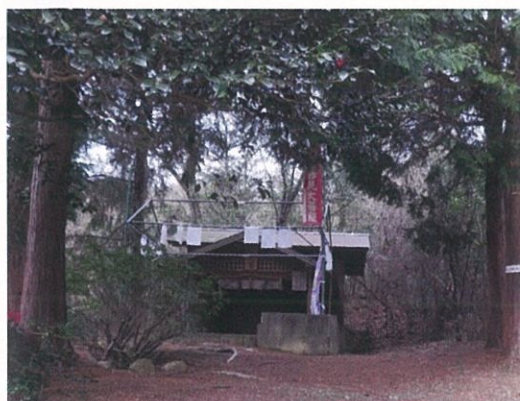
岡山良寛会（玉島）から森石武士会長・中藤秀三研修部長を迎えて「良寛さまと円通寺」の話を聞きました。「良寛さま」（岡山県良寛会編）やその他の資料をもとに説明を聞き、新潟生まれの良寛さまが二十二歳〜三十四歳まで円通寺で修行したことや当時の玉島の様子などがよく分かりました。「良寛音頭」の合唱で終わりましたが、秋の「三世代交流歩け歩け運動」で玉島を歩くのが楽しみになりました。なお、令和二年五月に「全国良寛会」が玉島で開催され、新潟をはじめ全国の良寛会のみなさんが玉島に来られる予定だったのが、「新型コロナウイルス感染」問題で九月二十六日に延期になったそうです。

## 沙美アルプスと明見宮への参道

沙美の山を見ると高圧電線の高い鉄塔が立っています。中国電力がこの電柱の点検をするための通路を「沙美アルプス」というそうです。山歩きの同好者たちによって小原から鴨方町六条院にかけての山頂の通路を「沙美アルプス」と呼んでいます。山歩きのための地図も販売されています。二十三の登山口があります。

この通路の中間に「明見宮」「龍王宮」があります。金光町の佐方からは「龍王宮」への登山道が「海の見える公園」への道として整備されています。沙美側からも「明見宮」へ参る道として登山道がありますが、金光ほど整備されていません。このたび、市の建設課がこの「道直しの材料」を購入してくれ、沙美の有志で運び上げて整備しました。有志の方や参拝者によって、年に三回は「明見宮参り」の掃除も行われています。

道路補修だけでなく、沙美中公園・沙美西公園・東浜の吉田村長顕彰碑・恵池の石碑など周辺をきれいにするヒトがいます。よその村を通る時も公園や石碑の周辺がきれいになっていると、「ああ、ここは老人達が元気な村だなあ」と思えます。沙美を通るヒトにもそう思ってもらいたいものです。



## 敬老会・友愛訪問(食事訪問)

### ◇敬老会

令和元年九月十一日(日)  
会場 倉敷市立沙美小学校

例年、友愛訪問(食事訪問)のみが行われてきましたが、今年度新企画として、食事訪問対象の方々をお招きして敬老会を実施することになりました。お宅から一歩踏み出して旧知の方々と歓談したりして楽しいひとときを過ごしていただきたいの願いを込めて実施しました。

黒崎公民館の講座生の方々によるフラダンスや、沙美小学校のご協力で小学生による音楽発表「ゲーム、締めくくりは森元明美先生のピアノ演奏で懐かしいの歌声をみんなで楽しく合唱しました。

当日、参加者数は役員を含めて百名近くとなり、沙美地区社会福祉協議会、沙美地区愛育委員会の関係者は、実施してよかったと喜び合いました。各町内の愛育委員の方々、地域の方々のご協力があったからこそと住民パワーのありがたさを感じた一日でした。

また、沙美小学校の校長先生をはじめ先生方のお力添えで、高齢の方々と児童の皆さんの交流ができたことは意義深いことであり、ぜひ来年度もこの行事を継続させてほしいと願っています。

### ◇友愛訪問

令和二年一月十六日(木)

一月実施の食事訪問は予定通り各家庭を訪問する方向で準備が進められてきました。沙美地区愛育委員会と沙美地区社会福祉協議会が共催で、心ばかりの品をお届けしました。経費は共催の二団体が拠出して、愛育委員の方々がお宅へお届けしました。

敬老会に参加されてどうでしたか。また来年、ふるって御参加されますようよろしく願います。食事訪問についても、楽しみにお待ちしております。



## 三世代交流歩け歩け大会

令和元年十一月二十三日(土)

穏やかな天気恵まれ、三十六名が参加。玉島港町を楽しんだ一日でした。

十時に沙美小学校へ集合。沙美バス停留所(十時四十分発)から玉商ランド前停留所まで路線バスに乗る。バスを降りて、若き良寛和尚が修行された円通寺へ、坂道を登り参拝。山門で有り難い巻寿司が配られる。円通寺公園展望休憩所でゆっくり昼飯。白華山を降り、旧柚木家住宅(西爽亭)へ。玉島の恩人熊田恰公について、丁寧な説明を興味深く拝聴。次に羽黒神社へ参拝。拝殿瓦の烏天狗と経ノ巻瓦を拝観。飲み物とお菓子で、しばし休憩。玉商ランド前停留所(二時四十九分発)からバスで戻る。

今年「路線バスで玉島に行きましょう」と題打って催しました。如何でしたか。来年もご期待ください。



## 沙美 秋祭り

令和元年十月十九日(土)・二十日(日)

十月第三土曜日・日曜日の「諏訪神社秋祭り」に例年どおり沙美地区社協は千歳楽巡行を主催しました。今年度は土曜日を東回り、日曜日を西回りとしました。

十八名の小学生と三十四名の大人が法被を着てくれ、交通安全に配慮しながら、町内を練り歩きました。土曜日の「だんびらき」では、子供たちは焼きそばやお菓子をしっかりと食べていましたが、大人たちも和氣藹々の雰囲気でも語り合っていました。久しぶりに顔を合わせた八十五才の沙美小同級生同士が懐かしそうに話していたのが特に印象的でした。

千歳楽が二台あればもつと大勢の法被を着た先輩方の同窓会が盛り上がるだろうに、と思ったものでした。

「令和二年度は二台でいけそうだ」との朗報もあり、今から楽しみで、「コロナウイルス感染症問題」が収まってくれることと晴天を祈るばかりです。



### 【お知らせ】

## 第五回防災研修の延期

令和二年三月八日、倉敷市立沙美小学校を会場にお借りして実施予定の沙美学区自主防災組織連絡会主催(沙美地区社会福祉協議会《沙美学区コミュニティ協議会》共催)の防災研修は新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念して無期限延期の措置をとらせていただきました。

コロナ感染症の沈静化を見届けて、実施時期を決めていきますので、百名超の参加を予定して下さっていた方々、マスク関係や倉敷市防災危機管理室の方々、ご案内を致しますので、お待ちいただき奮ってご参加いただけますようお願いいたします。